

盛岡藩の財政を支えた漆器産業

常設展示「赤坂田・関家文書」

現在、本館の常設展示では『赤坂田・関家文書(当館寄託資料)』を展示しています。

この文書には、文化3(1806)年に御用木地師(藩の命令で、おわんなどの木工品を製造する職人)を長年務めた褒美として苗字帯刀(農工商などの庶民が名字を称すること)を許され、関左衛門四郎と名乗ったと記されています。

江戸時代の安代地区の住民は、通常は米で納める年貢を漆器産業で得た銭で納め、盛岡藩の財政基盤の一つとして重要視されていたことが示されています。



赤坂田・関家文書(当館寄託資料)

高齢者夫婦世帯交流会で講演

西根、松尾、安代の3地区の高齢者夫婦世帯交流会(市社会福祉協議会主催)がそれぞれ八幡平ハイッで開催され、当館学芸員が講演しました。

10月10日に開催された松尾地区の交流会には21人が参加。「発掘された八幡平市の歴史」と題し、縄文時代の遺跡である長者屋敷遺跡(松尾地区)などの発掘調査の様子や出土品を紹介しました。

また「昔の暮らしーハレ・ケ・ケガレ」と題して講演。正月や結婚などを「ハレ」の日、葬送などの不浄な状態を「ケガレ」の日、「ハレ」の日のために良く働き、質素な生活を心掛ける日常生活を「ケ」と表し、日常と非日常を衣食で使い分ける日本古来からの暮らしを紹介しました。



スクリーンに映された出土品を眺める参加者

図書館で始まる冬のイベント

冬のイベントの紹介

◆干支あみぐるみ教室

来年の干支「亥年」にちなんだイノシシのあみぐるみを作ってみませんか。

■日時 12月2日(日)、3日(月)の両日、午前10時から午後3時まで ※どちらか一方の参加も可能です。

■対象者 細編みができる人

■持ち物 かぎ針、好みの毛糸(2、3個) ※毛糸は会場でも購入することができます。



イノシシのあみぐるみ

◆クリスマスお話し会

一足早い「クリスマスお話し会」を開催します。お話ボランティア「おはなしちゅーみん」(盛岡市)と一緒に話し会や工作で一緒に楽しみましょう。参加者には、あみぐるみのプレゼントがあります。

■日時 12月9日(日)午後0時45分から3時まで

認知症コーナーを拡大中

7月から開設している認知症コーナーは、11月18日(日)に西根地区市民センターで開催する「市民健康講座・認知症講演会」(市主催)【関連11頁】に合わせて、22日(木)まで展示スペースを拡大しています。

講演会第2部講師の工藤広伸氏(介護作家・ブロガー)の著書を貸し出ししているほか、認知症に関する本を紹介しています。ぜひ図書館へお越しください。

◆12月から冬季開館時間が変わります

12月1日(出)から3月末までの期間、図書館の開館時間が下記の通り変わります。

▶月曜日から土曜日:午前9時から午後6時まで

▶日曜日・祝日:午前9時から午後5時まで

※本の返却は返却ポストを利用できます。

※松尾・荒屋両コミュニティセンター図書室の開館時間は変更ありません。

